

## 公益社団法人滋賀県サッカー協会 4種委員会申し合せ事項

本委員会に登録または登録を希望するチームは、規約及び申し合せ事項を遵守し、青少年の健全な育成に関わる者として社会常識に基く責任ある言動を常に心がけること。

大会運営に関する規約及び申し合せ事項は、各ブロックの運営においても遵守し適用すること。

チーム関係者が違反または常識を外れた行為を行った場合、全て該当チームの責任として厳格に処分する。なおチーム関係者とは、代表者・チーム役員・選手・後援者・保護者・応援者等、該当チームに関わる全ての者を指す。

### I 登録

1. チームは、公益財団法人日本サッカー協会及び公益社団法人滋賀県サッカー協会に加盟登録（チーム登録）をしなければならない。
2. 全ての手続きは4月20日までに終了すること。登録の詳細は前年度総会で定める。
3. 登録チームの代表者は、公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会の委員となる。
4. 未登録のチームまたは個人については、登録が完了するまで試合への参加は認めない。
5. 登録済みのチームへの選手追加登録は随時受け付ける。
6. 新規に本委員会に登録を希望するチームは、4月1日から7月31日の間に所定の様式でチームの詳細を所在地のブロック長に提出すること。9月30日までにブロックの審査を完了し、その後に委員長承認を得たチームは、次年度より本委員会に加盟登録することができる。
7. 選手が正当な理由により移籍を希望する場合、当事者チーム双方の代表者が了承した上で、委員長承認を得て移籍することができる。  
チーム強化のみを目的とした移籍や、選手と保護者に過度の負担がかかるなど、4種の年代に相応しくない場合は移籍を認めない。また、移籍に際し、他チームに在籍する選手の勧誘や手順の不備（虚偽の理由や退団の偽装）など、社会常識に反する行為が認められた場合は、規律違反として関係チーム及び関係者を処分する。

### II 大会運営

#### 1. 試合前の手続き

- (1) 本委員会主催の大会に参加するチームは、8名以上の選手で編成すること。8名に満たないチームは試合に出場できない。なお、J A全農杯チビリンピックは、ビリオド間総入れ替え制のため16名以上での登録を義務付ける。
- (2) 大会へのエントリーはブロック予選開始前に完了すること。ブロック予選開始後は、エントリー内容を変更することはできない。県大会以降の上位大会が終了するまで、選手の追加、削除他、いかなる変更も認めない。リーグ戦参加中の移籍方法は別に定める大会要項に則る。
- (3) エントリー表は、4種委員会が配布する所定様式の最新版を使用して作成すること。旧版や自作の様式、改変した様式、手書きでのエントリーは認めない。またブロック予選開始後は、明らかな誤記の修正以外の変更を認めない。
- (4) 出場チームは、試合開始1時間前までに会場に到着すること。
- (5) 原則として遅刻は認めない。止むを得ない事情により会場到着が遅れる場合は必ず大会本部に連絡し、指示を仰ぐこと。試合開始予定時刻を経過しても責任者が到着せず連絡もない場合は棄権とみなし、相手チームに勝利を与え、対戦結果を0対10とする。なお、J A全農杯チビリンピックは、棄権の場合の対戦結果を0対5とする。
- (6) 遅刻の連絡があった場合、その理由や大会日程を考慮して大会本部で処置を決定する。原則として20分以上の試合開始時刻変更は行わない。
- (7) 試合開始1時間前までに、顔写真の判別できる選手証を大会本部へ提示してエントリーチェックを受けること。
- (8) 先発の選手番号に○印を記入したエントリー表を、試合開始30分前までに大会本部と対戦チームに提出すること。

## 2. 登録違反

試合前、試合途中もしくは終了後（次の試合の開始以前）に選手の登録違反が発見されたときは、該当の試合を没収試合とし、相手チームに勝利を与え、対戦結果を0対10とする。違反した選手・監督は、以後もその大会に出場できない。以降の処置については、大会の規律委員会の決定に従うこと。なお、該当試合以前の試合結果は有効とし、遡っての再試合や、敗退チームの復活は行わない。

## 3. ユニフォーム

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規定に準拠する。大会参加当日は、登録した正副両方のユニフォームを用意すること。
- (2) ユニフォームの色は、審判が通常着用する黒と明確に識別できる色とすること。正副のユニフォームは、互いにどのように組み合わせても重複しないよう、同系色を避け、かつ濃色と淡色を準備することが望ましい。
- (3) 相手チームと同色で識別が困難な場合は、両チームの話し合いにより、どちらかのチームが副のユニフォームを着用する。両チーム間の話し合いで決まらない場合は大会本部の指示を仰ぐこと。
- (4) GKのユニフォームに限り、対戦チーム同士が同じ色でもよい。
- (5) スtockingの上に着用するテープは、Stockingと同色または透明とする。
- (6) アンダーシャツ及びアンダーショーツの色は、ユニフォームの袖及びパンツの主たる色と同じとすること。アンダーシャツ及びアンダーショーツの色や形は全員が同じものとする。着用の有無については統一しなくてよい。

## 4. 試合に関しての注意

- (1) ベンチ入りできるのは、その大会のエントリー選手と、当日エントリー用紙に記載したチーム役員3名以内とする。なお、J A全農杯チビリンピックにおいては、チーム役員を2名以内とする。
- (2) ベンチの位置および試合前の練習場所は、原則として第4の審判または補助審判から見て左側を組合せ表の上のチーム、右側を組合せ表の下チームが使用する。

## 5. 「8人制サッカールール」の適用について

- (1) 退場による欠員は、他の交代要員で補充する。
- (2) 選手が負傷により退出した場合、復帰を前提として欠員を補充せず試合を続行することができる。

## 6. 規律関係の注意

- (1) 試合中の審判の判定には絶対に抗議することができない。
- (2) 試合中、試合後を問わず、いかなる理由でも報復行為は絶対に許されない。
- (3) それぞれの県大会において退場・退席を命じられた者は、次の1試合を出場停止とする。以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会の決定に従うこと。
- (4) それぞれの県大会において通算2回の警告を受けた選手は、次の1試合を出場停止とする。
- (5) 大会の終了（敗退含む）により、出場停止処分が未消化の場合は「次の公式試合」に適用される。移籍や卒業など、大会間の伝達が必要な場合、伝達責任は当事者（選手及び該当チーム）にあるので注意すること。ただし警告は、大会の終了（敗退含む）により消失する。

## 7. その他

「飲水タイム」「自由な交代」は大会要項により実施する。

## 8. 会場使用上の注意

- (1) チーム代表者は大会中の選手および応援者の全ての行動に責任を負うこと。特にベンチと応援席の区別は明確にすること。
- (2) 会場に到着した時から試合終了後会場を離れるまで、本部の指示は確実に守ること。
- (3) 会場には迷惑をかけないように注意し、特に物品の借用については一切行わないこと。
- (4) 使用した更衣場所およびベンチ付近については、責任をもって清掃・整頓をすること。特に、最終チームはその会場の清掃に努めること。

## III 大会の後援について

公益社団法人滋賀県サッカー協会の後援を得ようとするものは、所定の様式により本委員会の承認を得た後、公益社団法人滋賀県サッカー協会の承認を得るものとする。

## IV 当年度の県大会出場チーム数について

1. 「全日本少年サッカー大会」「滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会」「木下杯サッカー大会」のブロック別県大会出場チーム数は、前年度の登録チーム数を基準に比例配分で決定する。
2. J A全農杯チビリンピックのブロック別県大会出場チーム数は、前年度の出場チーム数を基準に比例配分にて決定する。
3. 「滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会」には前年度木下杯サッカー大会優勝チーム、「全日本少年サッカー大会滋賀県大会」には当年度「滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会」優勝チームが、それぞれ予選の結果に関係なく県大会に出場する権利を得る。（権利を行使しない場合は、準優勝チーム以下へ移行する）

## V 同一の登録チームから複数のチームが県大会へ参加する際の注意

1. 県大会までは同一登録チームからの複数チーム出場を認めるが、上位大会（関西大会以上）への複数チーム出場は認めない。従って、同一の登録チームから複数のチームが県大会で上位に勝ち上がった場合、2チーム目以降は上位大会への出場を辞退すること。なお、辞退に伴う上位大会への出場チーム補てんについては、県役員が協議し決定する。
2. 公認指導者・チーム役員・監督代行・審判員は、複数のチームを兼任することはできない。
3. 2チーム目以降のエントリー表の「監督名」欄について
  - (1) 監督名は、協会に登録した同一の監督名を記入すること。
  - (2) 2チーム目以降のチームが試合を行う際は、代行者が監督を務め、試合当日に「監督代行」欄に代行者の氏名を記入すること。
4. エントリーした選手の移行について

ブロック予選開始後に、敗退または辞退したチームにエントリーしていた選手を、勝ち残ったチームへ移行して追加エントリーできない。ただし、大会規定に追加エントリーが認められている場合はこの限りではない。

(平成27年3月22日)